

ドラム式洗濯機の乾燥フィルターの掃除の仕方

こちらに説明する掃除の仕方は取扱説明書 46-47 ページに書かれた内容を元にも書いています。詳細は、取扱説明書を参照してください。

ドラム式洗濯機の乾燥機能は、乾燥フィルターを通して空気を循環させることで洗濯物の湿気を取り除いています。

ホコリやゴミのために乾燥フィルターとフィルターにつながるダクトを空気が通らなくなると、乾燥機はうまく機能しなくなり、洗濯物も乾きにくくなります。

このため、まめにフィルターとダクトからホコリやゴミを取り除く必要があります。

① フィルターボックスを掃除する

乾燥機上部の右側に乾燥フィルターがあります。

ボタンを押して、フィルターボックス（青）を取り出します。



フィルターは 2 重構造になっています。青いフィルターボックスと本体に固定されたフィルターです。

ドラムの中から暖かく湿った空気がダクトを通り、青いボックスの手前にあいた穴に流れ込みます。

暖かい空気には衣類の繊維などのホコリやゴミが含まれていますが、その汚れのほとんどはこちらの青いフィルターボックスのフィルターにたまります。



青いフィルターボックス内のホコリやごみを取り除く際に、付属の白いブラシを使います。

ほとんどのゴミはこれで取り除くことができますが、フィルターの網を通れずにフィルターにこびりついている微小なゴミが蓄積して、フィルターの風の通りが悪くなる場合があります。その場合は、フィルターの外側から中に向かって、ブラシの先端でフィルターをたたくようにすると、フィルターの目に詰まった微小なゴミを取り除けるそうです。



ちなみに、青いフィルターボックスは水洗いをしてもいいそうです。

要はホコリやゴミを取り除けばいいので、掃除機を使ってゴミを吸っても問題ありません。その場合も空気の流れとは逆向きに吸った方が効果的です（ボックスの中に掃除機の口を入れて吸い込む）。

青いフィルターボックスは乾燥機を使うたびに必ず掃除をしてください。

② 本体のフィルターを掃除する

ほとんどのホコリとゴミはフィルターボックスで取り除かれるので、汚れはそれほどひどくはありませんが、本体のフィルターにもホコリやゴミはたまります。これらのホコリやゴミを取り除くのに、白いブラシが威力を発揮します。

奥の斜めのフィルターを掃除するときは、斜めの角度のブラシが使いやすいです。

真下のフィルターを掃除するときは、直角のブラシを使います。

ブラシでほとんどのゴミは取り除けますが、青いフィルターボックスと違って取り外しができないので、細かいゴミはかき出しにくいかもしれません。そういうゴミはときどき掃除機で取り除いてください。



③ ダクト内のホコリやゴミを取り除く

乾燥フィルターボックスに空気を流し込むダクトにもホコリがたまり、空気の流れが悪くなることがあります。

右の写真の格子のある穴が、ダクトの出口です。ダクト内のホコリを取り除くための道具として、洗濯機には掃除機に取り付けて使用する「お掃除ノズル」が付属品としてついています。

※ダクト内にブラシ、割りばしなどを落とすと故障の原因になりますので注意してください。



右がお掃除ノズルです。これを掃除機に取り付けて、ダクトの出口をふさぐようにして、ダクト内のごみを取り除きます。

掃除機は充電式のものでは吸引力が弱いので、電源コード付きのものを使うのが良いと思います。

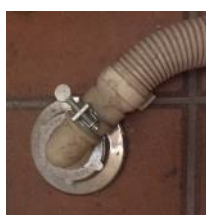
取扱説明書によると、こちらのダクトの掃除は一週間に一回程度行ってくださいとのこと。



掃除機で取り除けなかったホコリがあると、そこにホコリが蓄積して大きな塊になってしまうこともあります。そのような場合は、ススを落とすためのブラシを使って塊のゴミを取り除きます。その

際、ゴミが洗濯機の中に落ちてしまうこともあります。そのようなゴミは糸くずフィルターにつくか、洗濯物の汚れと一緒に排水溝から流れ出てしまうので心配ありません。

洗濯機はホースで排水溝につながっています。ホースや排水溝が詰まるといけないので、こちらも時々詰まっていないか点検して、ゴミがあれば取り除くといいようです。



←排水溝とホース

ダクトを掃除するブラシ

